

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公表番号】特表2004-504327(P2004-504327A)

【公表日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2002-512214(P2002-512214)

【国際特許分類】

C 07 K 14/775 (2006.01)

G 01 N 33/53 (2006.01)

G 01 N 33/564 (2006.01)

【F I】

C 07 K 14/775 Z N A

G 01 N 33/53 W

G 01 N 33/564 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月16日(2008.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 20~40アミノ酸から成り、配列番号2を含むペプチド。

【請求項2】 イムノアッセイにおいて、サンプル中の自己抗体の存在および、場合によりその量を検出するための、請求項1に記載のペプチドの使用。

【請求項3】 該ペプチドが 10^5 l/molより大きい親和定数を有する自己抗体と相互作用する、請求項2に記載の使用。

【請求項4】 サンプル中の酸化低密度リポ蛋白に対する自己抗体の量を測定する方法であって、

(i) サンプルを、固定化した請求項1に記載のペプチドと、自己抗体が該ペプチドと結合し得る条件下で接触させること、および

(ii) 結合の量を決定すること、
を含む方法。

【請求項5】 サンプルが患者からの血清または血漿サンプルである、請求項4に記載の方法。

【請求項6】 (i) 請求項1に記載のペプチド、および

(ii) 免疫吸着アッセイを行うために必須の試薬

をそれぞれ含む容器を備えたユニットを有する、酸化低密度リポ蛋白の自己抗体を測定するのに適したキット。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第2の局面に従い、サンプル中の酸化低密度リポ蛋白に対する自己抗体の量を測定する方法は、

(i) サンプルを、固定された、上記のように誘導体化されたペプチドと自己抗体が該ペ
プチドに結合することを可能とする条件下で、接触させること、および
(i i) 結合の量を検出すること、を含む。